



2025年3月19日

新しい観光列車「赤い星」「青い星」運行開始時期の変更について

JR北海道では、沿線と共に北海道を活性化する計画「スタートレイン計画」をスタートさせ、新しい観光列車「赤い星」「青い星」の2026年度の運行開始に向けて準備を進めています。

2024年12月18日に運行計画の概要をお知らせしましたが、当初想定していた以上に補修に時間が必要なことから、実際の車両を見ながら関係者で意見を交わした結果、より良い車両とするために運行開始時期を変更することとしました。

具体的な運行開始時期については、確定次第、改めてお知らせします。

「赤い星」「青い星」がお客さまに素晴らしい体験を提供できるよう、引き続き努力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 2024年12月18日にお知らせした運行時期とルート

	2026年									2027年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
「赤い星」 編成		釧網線 釧路～知床斜里		道内クルーズ 旅行会社主催による貸切列車							函館線・石北線 札幌～網走		
「青い星」 編成			富良野線 旭川・美瑛～富良野								釧網線 網走～知床斜里		

↳ 運行開始時期を変更します。具体的な時期については、確定次第、改めてお知らせします。

2. 現行「ノロッコ号」車両の運行終了時期の変更について

- 「くしろ湿原ノロッコ号」および「富良野・美瑛ノロッコ号」について、現行「ノロッコ号」の車両（機関車+展望客車）での運行は2025年度をもちまして終了する予定でしたが、「赤い星」「青い星」運行開始時期が変更となることから、必要な措置を施したうえで、2026年度に限り運行を継続することとしました。
- なお、けん引している機関車は経年45年以上、客車は経年40年以上が経過し、老朽化が進行するとともに使用部品の生産中止が相次いでおり、以降の継続使用は困難であることから、2026年度で運行を終了します。

※ 2026年度の運行計画については、決まり次第お知らせします。

3. 車両の状況について

- 車体は経年 40 年を超えており、通常の定期検査では取り外さない内装材の内側を確認したところ、想定以上の腐食、歪みがあることがわかりました。
- 「豪華」で「上質」な観光列車としてご提供するため、通常の修繕より手をかけて車体を仕上げています。

【外装】



歪み大



腐食大、穴あき



修繕中

【内装】



窓枠 (室内)



腐食大、穴あき



修繕中